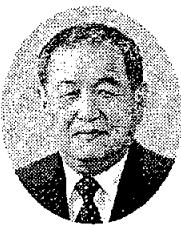


浅沼全建会長

公共  
調達

# 新政権に期待寄せる



全国建設業協会の浅沼健一  
会長は16日に開かれた臨時総  
会、評議員会後に会見し、

「全建100年の歴史の中  
で、建設業の経済的、社会的、  
技術的な水準を上げ、健全な  
発展を図り、公共の福祉に寄  
与してきた」と述べ、「政権  
交代しても、建設業が置かれ  
ている立場や状況、政権与党  
の政策に対して意見を述べる  
という基本的なスタンスは変わ  
らない」との見解を示し  
た。

その上で、「新政権を担う  
民主党にはしがらみがないた  
め、公共調達システムを新し  
い視点で見てくれるだろう。  
透明性、公平性を強調してい  
るので、真の公共調達制度と  
は何かを冷静に考え、われわ  
れが望む不良・不適格業者の  
排除につなげてくれるのではないか」との期待を寄せた。

その一方で「世界的な金融  
危機の中、緊急経済対策は日  
本にとって重要であり、それ  
を止めるというのは、世界的  
な視点に立てば疑問を感じざ  
るを得ない」、建設業の健全  
な発展という意味でもマイナ  
スだ」とも訴えた。

専務理事に押田氏

金建

全国建設業協会（浅沼健一  
会長）は、16日に開いた理事会  
と臨時総会で、野見山恵弘  
専務理事の退任とともに、そ  
の後任に押田彰常任参与を充  
てる人事を決めた。いずれも  
16日付。

押田 彰氏（おじだ・あきひ

1977年3月東  
京大卒後、同年4  
月建設省（現国土  
交通省）入省。2

河川局次長、06年8月水資源機構  
理事、08年7月国土交通省土地・  
水資源局長を経て、09年8月全国  
建設業協会常任参与。愛知県出身  
57歳。

